

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第3分科会		
テーマ	防犯・防災・ボランティア		
開催日	平成 26年 6月27日	検討回数	第5回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

- ・中間発表に向けたアイデアの検討を行う。

2. 今回の討議した内容(報告)

指針づくりのための、アイデア作成に向けたさまざまな意見が出された。

- ・空き屋対策が問題となっている。放置された空き屋は、雑草も生い茂り、防犯、防災上問題であるが、個人財産であるので、対策が難しい。行政での対応もなかなか進まない。地域での対応も難しい。これからの抜本的な対策が望まれる。
- ・道路に面した垣根などの植栽の管理についても課題が多い。高齢者世帯などでは、管理ができず、道路に木の枝などが伸び、交通に支障をきたしているところがある。所有者の了解を得て地域で管理しているところもある。
- ・きれいな環境づくりをすることで、住民、使う人もきれいに使うようになり防犯上、有効となる。
- ・防犯パトロールは、防犯パトロール隊だけではなく、散歩の時などにもまわりに目を配ることなどができるので、あらゆる機会を利用して行うべきである。
- ・防犯パトロール実施の際には、ジャンパー、ベストなど目につく物を身につけると有効である。
- ・地域の防犯、防災については、人と人とのつながりが重要である。となりにどんな人が住んでいるか日頃からわかっていれば、迅速、的確な対応ができる。
- ・ボランティア活動にあたっては、市民だけでなく、さまざまな団体、事業所の参加も必要である。市内にはさまざまな団体、事業所があり、人的な面、物からの面などそれぞれの特徴を生かした活動ができるのではないかと。

3. 次回の検討方針

- ・今回の検討をもとに、さらに各自でアイデアを検討し、分科会としての意見集約をする。次回、自主開催の予定。